

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	斎場管理運営				事業番号	011-203	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	斎場	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			明治 42 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			墓地、埋葬等に関する法律 堺市立斎場条例 堺市立斎場条例施行規則						

事業の概要

5	事業の実施主体	出先機関		
6	事業の対象	斎場利用者（火葬した件数）	対象数	単位
			10,000	人
7	事業の目的	市内唯一の公営火葬場として、常にご遺族の心情に寄り添いつつ、故人の尊厳を第一にした火葬業務を実施する。 また、年々増加する火葬需要に対応し、災害時等においても適切に斎場運営を実施する。		
8	事業内容	○ 火葬場・式場等使用の受付及び火葬運営業務 ・火葬部門 火葬炉17基、補助炉1基		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	年間火葬件数 （改葬遺骨を除く）	件	目標値	—	—	—	—
			実績値	9,830	9,836		
達成率			—	—			
当該指標を選定した理由		斎場での主業務であり、実火葬件数は客観性があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		斎場運営の適正性を確認するための指標であり、目標値を設定し達成率を測ることは適当ではない。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	施設稼働日数	日	目標値	364	364	364	
			実績値	364	364		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由		斎場の安定的な稼働が年間火葬件数の達成に必須であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		1月1日を除き稼働している。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	斎場管理運営	事業番号	011-203
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	496,189	433,708	581,864	541,890	577,810
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	41,700	0	0	0	0
	その他（水道光熱水費徴収金、森林環境譲与税）	673	794	750	751	5,699
	受益者負担金(使用料、手数料等)	254,690	251,181	274,987	287,528	276,055
14	人件費（b）	35,190	35,390	36,560	36,560	37,830
	一般財源	199,126	181,733	306,127	253,611	296,056
15	年間経費（c）=（a）+（b）	531,379	469,098	618,424	578,450	615,640

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		斎場火葬運営業務	R7	決算	122,767	57,456	堺市立斎場ESCO事業	R7	決算	22,040	10,315
			R8	予算	122,767	62,903		R8	予算	22,040	11,293
		施設等修繕料（斎場定期補修）	R7	決算	62,527	29,263	電気使用料（枠外）	R7	決算	50,985	23,862
			R8	予算	73,920	32,037		R8	予算	52,312	26,124
		施設等修繕料（火葬炉制御装置取替）	R7	決算	50,930	23,836	ガス使用料（枠外）	R7	決算	54,405	25,462
			R8	予算	65,730	26,095		R8	予算	55,691	27,876
		斎場警備業務	R7	決算	41,954	19,635	水道使用料（枠外）	R7	決算	4,288	2,007
			R8	予算	41,954	21,496		R8	予算	4,600	2,197
		斎場清掃等業務	R7	決算	17,461	8,172	その他（旅費、消耗品費など）	R7	決算	114,533	53,603
R8	予算		29,177	8,947	R8	予算		109,619	77,088		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	年間火葬件数（改葬遺骨を除く）	件	9,830	9,836
	②	上記①にかかる年間経費	千円	232,105	299,772
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	23,612	30,477
	算出についての説明等		年間経費はガス料金、火葬運営委託料、火葬炉定期補修・制御装置取替、火葬炉関係消耗品購入額等で算定		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度の斎場運営においては、年間火葬件数が前年度比で微増となり、9,836件となった。 斎場業務において最も重要な設備である火葬炉については、日常点検及び定期点検を適切に実施し、必要に応じた補修を行うことで、常に良好な稼働状態の維持に努めている。 また、設備の維持管理として、令和7年度から令和10年度にかけて火葬炉制御装置の取替工事を実施しているため、火葬に係る年間経費については、令和7年度より当該工事に係る経費が一時的に増加している。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本斎場は堺市唯一の公営火葬場として常に良好に運営することが求められている。 主要業務である火葬業務は、故人との最後のお別れの間であり、告別や収骨の場面において全てのスタッフは、ご遺族の心情に寄り添い、故人の尊厳を第一にした火葬サービスを提供した。 また、年々増加する火葬需要への対応については、火葬時間の延長、日常の点検、定期的な機器・設備のメンテナンス工事等により、火葬業務の維持につとめ、安定的かつ継続的に事業を実施している。 本市において公営火葬場としての有効性は非常に高い。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本斎場は堺市唯一の公営火葬場として常に良好に運営することが必須となっている。 多死社会の到来により、年々増加する火葬需要に対応すべく施設の長寿命化が命題であり、日常点検をはじめ、定期的な機器・設備のメンテナンス工事等を適宜実施している。また、火葬業務を円滑に遂行するため、火葬時間の延長等により受入れ枠を増加させて対応を継続している。
	有効性	■ 高い □ 低い	